

横浜市におけるパスポート発給事務の実施について

1 経緯

現在、横浜市内にある神奈川県パスポートセンターは、産業貿易センタービル（中区）の1か所のみです。市の北部4区（港北区、緑区、青葉区、都筑区）は、パスポート申請件数が約6万件弱と横浜市全体（約17万件）の3分の1を占めていますが、県のパスポートセンターは遠く、時間も費用も掛かっている状況です。県では新たなパスポートセンター設置の予定がないことから、市民の皆様の利便性向上のため、平成29年3月開催の「横浜市神奈川県調整会議」において、林市長が黒岩知事に、市がパスポート発給事務を行うことができるよう求め、市と県で検討を開始することが合意されました。

これを受け、市と県で協議を行い、平成31年秋頃（9～10月頃）を目途に、県条例による事務処理の特例により、横浜市がパスポート発給事務を実施する方向で調整を進め、市内北部地域に新たにパスポートセンターを設置することとしました。

2 事務の内容（予定）

パスポートの発給（記載事項変更含む）の申請の受理、交付等

※原則として、本市に住民登録している方を対象とします。

※詳細については、今後、神奈川県と協議します。

3 横浜市パスポートセンター（仮称）設置場所

市内2か所

- ・市営地下鉄センター南駅構内 1階（横浜市都筑区）
- ・産業貿易センタービル 2階（横浜市中区）

※パスポートの申請と受取は、同じパスポートセンターを予定

4 実施時期（予定）

平成31年秋頃（9～10月頃）

5 所管局

平成30年度から、パスポート発給事務の実施及び「横浜市パスポートセンター（仮称）」設置に向けた準備事務は、国際局が所管することとします。

6 その他

今後、神奈川県において「事務処理の特例に関する条例」の改正が必要となります。

【参考】

相模原市におけるパスポート発給事務の収支等

○収支（平成 29 年度予算）

歳入 移譲事務交付金 約 2,516 万円

歳出 運営費用（2か所）約 5,653 万円
※その他、2か所のセンターで勤務している職員の「人件費」
がかかります。

○職員数（平成 29 年度）

12人 ※非常勤職員を除く

○申請件数（平成 28 年度）

23,221件